

⑥「実務による能力開発（CPD）」の単位登録（2009年1月より適用）

実務による能力開発（CPD）				
期間による単位	<p>◆常勤の実務実績（1ヵ月以上定常的に努める実務）は、1ヶ月2単位で24単位を上限とする</p> <p>◆業務内容（プロジェクト名等を含む）、業務期間（月）と立場（責任ある立場・担当者）を具体的に表示する</p> <p>*実務によるCPDは、建築士にかかわる実務を行っているかどうかを確認するものです（5年間で50単位～150単位）</p> <p>専攻建築士の専攻領域の確認とは切り離して運用します</p>			
	<p><まちづくり活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政勤務者（都市計画、条令等の政策検討立案他の業務） ・行政支援活動 ・再開発事業等 ・都市計画事務所等での業務 	<p><設計活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計事務所（個人）等での設計プロジェクトに係る業務 ・マネジメント業務（主宰者、管理職、技術スタッフ等）他 	<p><生産活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織（個人）でのプロジェクトに係る業務 ・マネジメント業務（主宰者、管理職、技術スタッフ等）他 ・工事監理（専任）業務 ・代理手続業務 	<p><法令活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認検査業務（行政・民間確認検査機関、法適合判定・性能表示等を含む） ・各種法令等の策定業務協力 ・裁判所（調停委員等）
加点による	<p>◆成果として実績のあるものを加点する</p> <p>◆論文名、本の表題等具体的に記載、複数該当する場合の計算方式を具体的に記入</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 顕彰の実績：10単位 <input type="checkbox"/> コンペ等への応募：5単位 <input type="checkbox"/> コンペ等の入賞：10単位 <input type="checkbox"/> 展示会等の出展：2単位 <input type="checkbox"/> 書籍執筆：2単位（1～9頁）、4単位（10頁以上） <input type="checkbox"/> 本の執筆：10単位（共同執筆：5単位） <input type="checkbox"/> プロジェクトの新聞、雑誌等への掲載：2単位 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 博士号取得：20単位 <input type="checkbox"/> 論文作成（学会等）：2単位、5単位（査読付） <input type="checkbox"/> 通年を通じた調査・研究開発プロジェクト：5単位 <input type="checkbox"/> 非常勤講師：1講座5単位（半年） <input type="checkbox"/> 資格の取得：国家資格：10単位、民間資格：5単位 <input type="checkbox"/> その他の加算 		

※地域貢献活動、建築相談等（近隣、建築問題等）、裁判所（調停委員等）、行政支援活動は、「研修による能力開発」の社会貢献活動に時間単位で登録も可

⑦「研修による能力開発（CPD）」の単位換算表（2009年1月より適用）

努力目標：年間36単位程度

研修による能力開発		区分	研修内容	単位算定基準	備考(申請書番号)
Ⅰ 活動型研修	1.1 社会貢献活動型	1	住宅相談、まちづくり活動、応急危険度判定、行政支援活動、裁判所(調停委員等)、住教育支援など	活動時間×2単位 建築パトロールは 活動時間×1単位	QRコードシール自動登録で受付 バーコードシール(他県) 上記以外は自己申請(④-I)
	1.2 情報提供型	2	講習会講師、各種講演、論文発表(論文作成は実務実績)等	活動時間×2単位	QRコードシール自動登録で受付 上記以外は自己申請(④-I)
	1.3 委員会活動型	3	各種委員会、審査会など(他団体を含む)	1回1単位	QRコードシール自動登録で受付 バーコードシール(他県) 上記以外は自己申請(④-I)
Ⅱ 参加型研修	2.1 認定研修	4	特別指定研修 従来の指定講習会などが該当	受講時間×2単位	QRコードシール自動登録で受付 バーコードシール(他県) 上記以外は自己申請(④-II)
			認定研修 特別認定以外の公益法人等主催の講習会	受講時間×1単位	QRコードシール自動登録で受付 バーコードシール(他県) 上記以外は自己申請(④-II)
2.2 その他講習会 講演会、見学会、 社内研修等	5	認定研修以外の講習会、講演会、大学等の公開講座、見学会、視察旅行等、社内研修、認定e-ラーニング等	参加時間×1単位 展示会は一律1単位 海外視察は1日2単位 出・帰国日は単位認定外 例:(9日-2日)×2=14単位	QRコードシール自動登録で受付 バーコードシール(他県) 上記以外は自己申請(④-II)	
Ⅲ 自習型研修	3.1 認定教材による 研修	6	雑誌記事・連載講座	教材ごとに単位数を設定 ・会誌「建築士」の「連続講座」は1回1単位 ・日経アーキテクチャー、日経ホームビルダー、建築技術、建築知識、新建築、彰国社の認定講座は、個別に単位認定	バーコードシール 認定図書は、誌面、カバー等にバーコードが刷り込まれているか、図書にバーコードが挟み込まれています。誌面等に用意された設問に解答して、バーコードを切り取り(コピーも可)②研修記録シートに貼付して自己申請してください。
			認定図書・プログラム評議会個別に認定した図書による読書	建築教養書 上限3単位 建築技術書 上限5単位	

※「区分1」講師の単位については、雇用関係にないものを対象とする。(雇用関係にあるものは実務として申請してください。公務員の講師は情報提供型で申請してください。)

※Ⅲ自習型研修の3.1認定教材による研修の「通信教育による研修(現在計画中)」は、計画が進まないため削除となりました。3-2「公開情報による研修(検討中)」も同じく削除となりました。